

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	どうしても入居者様に急な行動に「座ってください」「たたないでください」等、つい言うってしまう職員がいる。転倒等を懸念してのことではあるが、スピーチロックも身体拘束であるということを理解してもらう必要がある。	前年度も目標に掲げていたが、徹底できていない。スピーチロックを含む身体拘束をゼロにする。	入居者様がどうしたいのか、何をしたいのかを尋ね、理解できるように派遣職員を含む職員の育成に取り組む。研修内容を更に濃くし、育成に努める。また、職員がストレスを溜めないような環境づくりを行う。	6ヶ月
2	12	派遣職員が10名在籍し、直接雇用の職員に責任等を含むいろいろな負担がかかっている。	職員の定着・安定を目指す。一人でも多く直接雇用の職員を獲得し、一人でも多く派遣職員を減らしたい。	法人へ現在の状況を繰り返し訴え、理解してもらい職員の増員をお願いする。また、派遣会社にも現在契約している派遣職員を直接雇用に移推できないか繰り返し尋ねていく。	12ヶ月
3	19	感染防止対策や面会時間の制限をご家族に求めていたためか、面会に来なくなったご家族やご友人が多い。入居者様の現状の変化等を随時電話にて伝えてはいるが、会えずに寂しがっている入居者様がいる。	ご家族やご友人に面会に来ていただき、入居者様が穏やかに安心して生活できるよう支援したい。	変わらず感染防止対策や面会時間等の制限は求める事もあると思うが、面会可能であることを常に発信していく。また、入居者様の不穏行動を取り除く為に、ご家族やご友人と職員で情報交換をしていきたい。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。